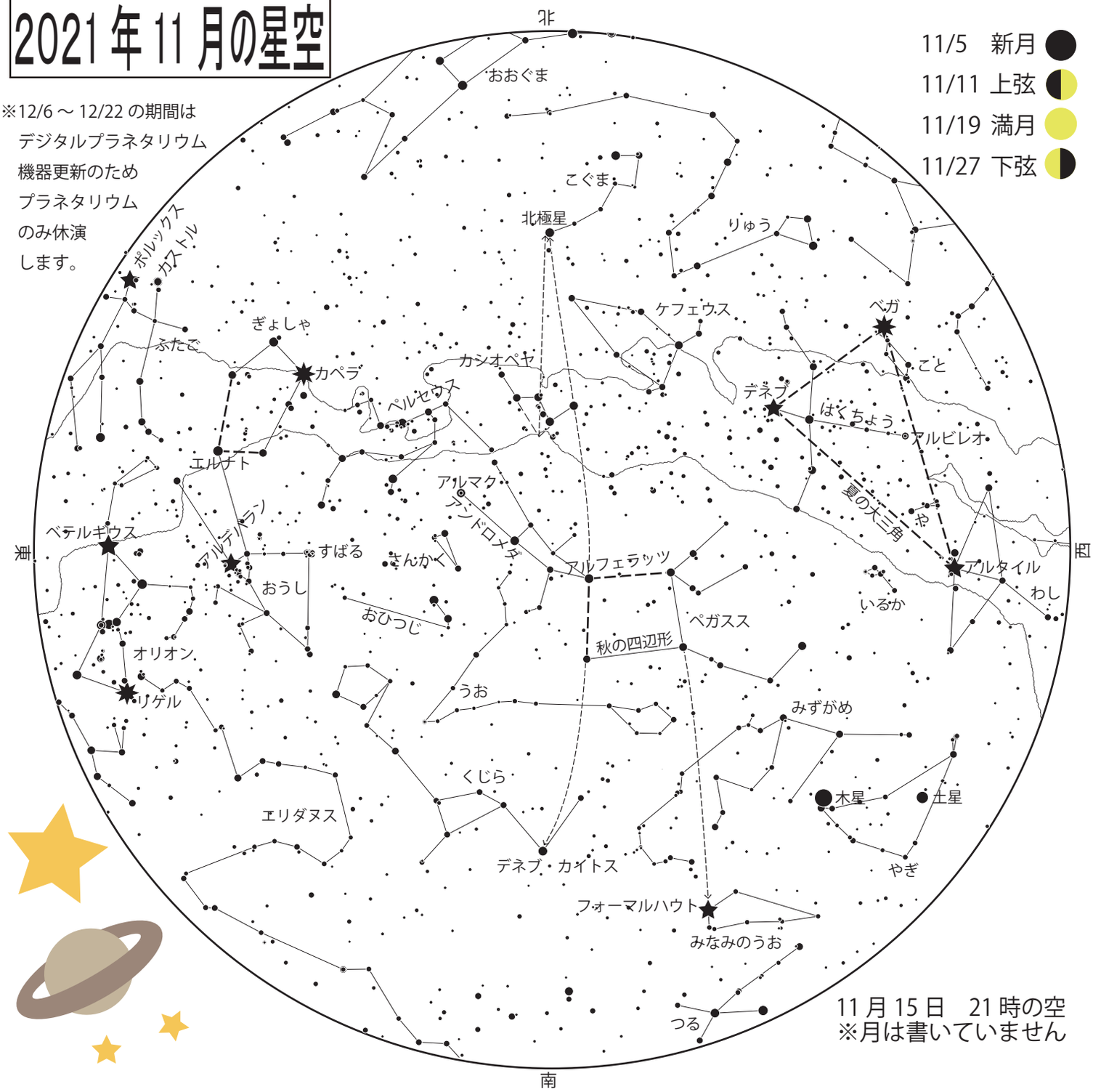
姫路で見る 2021年11月の星空

図の中心が頭の真上（天頂）、まわりの円が地平線です。
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。

姫路科学館
Himeji City Science Museum

11/5　新月
11/11 上弦
11/19 満月
11/27 下弦

※12/6 ～ 12/22 の期間は
デジタルプラネタリウム
機器更新のため
プラネタリウム
のみ休演
します。



11月15日　21時の空
※月は書いていません

日の入り後、西の空で目につくのが「夏の大三角」です。3つの星は、こと座のベガ（おりひめ星）、わし座のアルタイル（ひこ星）、はくちょう座のデネブ（尾という意味）です。「夏の大三角」はクリスマスの頃まで日没後の西の空に見えます。

紅葉が見ごろの今の時期、天頂あたりには秋の夜空の目印「秋の四辺形」が見えます。「秋の四辺形」は翼をもつ馬・ペガサスの胴体部分です。ペガスス座といいます。ペガスス座のおへそにあたる星アルフェラッツから北東の空へ明るい星を結んでできる星座が、お姫さまの星座・アンドロメダ座です。「秋の四辺形」の東の辺を南にのばすと、デネブ・カイトスが見つかります。アンドロメダのお姫さまを襲おうとした怪物の星座・くじら座の2等星です。

東の空には、もう冬の星座が見えます。リボンの形のオリオン座や、オレンジ色の1等星アルデバランが輝くおうし座などを探してみましょう。

木星は南の空に、土星は南西の空に見えます。土星は月末には21時頃に沈み、そろそろ見納めとなります。